

充実したサマースクール

2年生 小畑 葵

今回のサマースクールでは、台湾の文化や医療制度をはじめ、実際の医療現場の見学等貴重な体験が出来ました。台湾の学生さんたちには、日本語が上手な人もいるし、また英語が堪能な人もいて本当に驚きました。初めの2～3日は主に学校で中国語や台湾文化の勉強でした。その中にリボンでバッタを作る講義がありましたがこの講義が一番難しかったです。



何度も何度も先生や周りの人に聞いてやっと完成しました…ほかにも中国語の勉強では、学校の中国語の講義を取っておくべきだったなと何度も後悔しましたが楽しんで学習することが出来ました。授業で習ったフレーズは台湾の学生さんと会う度に使い、また別のあいさつなども教えてもらいました。台湾の学生さんにも、日本語でのあいさつなどを教え、異文化交流の出来る機会が授業以外にもたくさんありました。

台湾と日本の文化交流で私たちは、京都の紹介をしました。事前に全員で行った寺院や台湾料理店をスライドショーにまとめ、藤枝先生や学長、多くの先生方に協力していただいた力作でした。発表では、元培科技大学の先生が内容を通訳してくださり、本当に作成から発表までたくさんの人に協力してもらいました。私たち学生だけではとても出来なかったと今でも思います。また元培科技大学の学生さんは台湾のお祝い事や原住民の文化、国際医療福祉大学の学生さんは福岡県の紹介と大田原キャンパスの紹介でした。

病院訪問では、台湾の医療現場を生で見学することが出来ました。私たちは放射線科と作業療法や理学療法等を行うリハビリセンターを主に見学しました。どの病院も診断用の機械は新しいものが多くて驚きました。癌治療用のものからMRIやマンモグラフィまで。質のよい医療を提供したいという思いを感じました。また、なかなか知ることのない言語聴覚士さんや作業療法士さんの現場を見学でき、大変興味深いものとなりました。自分たちの現場だけではなく、ほかの現場の雰囲気も知る必要があると改めて思いました。

また、新竹の繁華街や、九份、淡水老街など有名な観光地にも連れて行ってもらいました。夜市に行けなかったことだけが心残りでしたが、どの場所も見るとは新鮮でした。淡水老街で



は大きなソフトクリームや臭豆腐を食べたり、また新竹の繁華街ではタピオカミルクティーやマンゴーかき氷を食べたりと台湾の食文化を満喫しました。ほかにもお土産屋ではしゃいで大変充実した時間を過ごすことが出来ました。

宿泊先のホテルでは、ほぼ毎日台湾の学生さんの部屋でパーティが催され、麻雀やジェンガなど楽しみました。一緒に参加した国際医療福祉大学の学生さんとも親睦を深めることが出来ました。また、誕生日の近い学生さんのサプライズパーティーもあり、思い出に残るひとときとなりました。ホテルはとても快適で部屋も広く、2人で使うのにはもったいないなと思いながら過ごしていました。

最終日前日は、パーティだったため朝からずっと準備で、私たちは本番に向けてダンスの練習に明け暮れていました。パーティが始まると、国際医療福祉大学の皆さんが日本食を用意してくれ、ビンゴ大会やベリーダンス、けん玉など盛りだくさんの内容でした。私たちは日本のアイドルのダンスを踊りました。周りの皆さんが盛り上げてくれたため緊張せずに踊れました。最後に研修証明書をもったときはサマースクール終わってほしくないなと名残惜しい気持ちでいっぱいでした。



サマースクールではこのレポートに書ききれないほどたくさん貴重な経験をし、改めて日本の良さや海外にも視野を広げることの大切さを痛感しました。また学長をはじめ、多くの先生方のサポートと元培科技大學と国際医療福祉大学の皆さんの気遣い無しでは成功しなかったと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。

SUMMER SCHOOL 報告書

～中国語講座と元培科技大学学生の日常の交流について～

R12-040 田中祐衣

この10日間のサマースクールを通して、私自身多くのことを学び、貴重な体験をした。その中でも主に、中国語講座と学生との日常交流に重点をおいた。

まず、中国語講座については、事前に少し予習をしていたこともあり、より一層理解しやすかった。また、教えてくださる先生方のほとんどが日本語を話せる方だったので、言語には苦勞することなく講義に集中して受講することが出来た。それに、元培大学の学生達も私たちと一緒に講義を受け、講義中はずっとそばについていてくれた。なので、分からない時は、すぐに聞くことができ、いろいろと教えてもらえたので、すごく助かった。



また、講義の中で習った中国語を使って、実際に旗揚げゲームもした。紅色と黄色の発音がとても似ていたのので、聞き分けるのに苦勞した。しかし、口頭で聞く講義と比べ体を使って行った旗揚げゲームのほうがゲーム感覚で楽しく中国語を覚えられた。

元培科技大学の学生との交流については1グループに3人の台湾の学生さんがついてくれて行動するというかたちだった。台湾の学生スタッフは、二カ国語を話せる方が多かったので、言葉の壁というものは、あまり感じなかった。しかし、中には中国語しか話せない方もおられたので、コミュニケーションをとる際に少し苦勞した。ジェスチャーなどを用いてもなかなか通じない場合もあったが、メモ帳を使って、絵を描いたり、自分達が知っている漢字を使ったりすると伝わりやすかった。また、私達のグループについてくれていた台湾の学生スタッフの中に日本語がとても上手に話せる方がおられたので、なかなか通じなくて困っている時は、通訳として間にはいってくれたおかげで、コミュニケーションがとりやすかった。

それに、台湾の学生は、日本語を勉強したいと思っている人が多く、簡単な日本語での会話も行うことが出来た。また、私達日本の学生の中に誕生日の人がいると、ホテルの一室を貸し切って誕生日パーティーを開いてくれたり、夜はいろいろな所に連れていってもらったりと、



とても気遣ってもらった。台湾の学生スタッフ達は、とても親切で良い人ばかりだった。台湾で一番困ったことは、買い物の時である。言葉が通じないことや、全て中国語で書かれているメニューが読めないためどのような種類があるのか分からず、注文するのにとても手間取った。しかし、台湾の学生スタッフが気にかけてくれ、私達の代わりに注文してくれたので、すごく助かった。

私自身、外国に行くのは初めてだったので、台湾の学生とコミュニケーションがとれるかなど不安なこともたくさんあったが、親切な学生さんがたくさんいてくれたおかげで、この10日間のサマースクールで充実した時間を過ごすことができた。

このような企画に参加でき、とても良い経験ができたのでよかったと思う。



台湾報告書

R12-074 村上 智裕

この度の、2013 YPU Summer School of Chinese Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit Programにおいて、私自身としても、学校自体としてもはじめてのことであったので、一から準備しなくてはなりませんでしたが、しかし、引率してもらった遠山先生、富高先生、ほか各先生方、事務員の方、一緒に参加した仲間のおかげで本当に有意義な11日間を過ごせたと思います。

個人としては、海外に行くことやサマースクールに参加することなど初めての経験が多く、自分のこれからの糧として、多くのことを学べたと思います。台湾で過ごしたこととしては、本当にたくさんのプログラムを台湾の生徒が考えていてくれて、また愉快地楽しく温かいおもてなしもあり、非常に有意義な11日間を過ごせました。台湾の学生の中でも、日本語を理解し話せる学生は1, 2人しかいませんでしたが、お互いがジェスチャーやほんの少しの英語を駆使しながらうまくコミュニケーションをとり、楽しい日々を送りました。サプライズでの誕生日パーティーや毎日のようにホテルの部屋にみんな集まって、トランプゲームや麻雀するなど、休む暇がないほどとても内容として濃い毎日を送りました。

また、日本からは国際医療福祉大学の学生も来ていて、台湾の学生だけでなく、日本のほかの医療大学とも交流ができ、たくさんコミュニケーションをとることができました。医療関係のプログラムとしては、講義や病院見学を通じて台湾の医療事情をたくさん学ぶことができました。病院見学の際には、放射線科の病棟などを見学させてもらい、遠山先生の補足説明も聞きながら、知識を深めることができました。

具体的に、中国文化講座と日常の食事について私の感じたことを書きたいと思います。中国文化講座としては、テープを使ったアート体験、中国式の書道、新竹市内を巡ったり、太極拳の護身術を学んだりしました。テープを使ったアートでは、バツタを作りました。先生のやり方を見ていてもなかなかできず、僕の作ったバツタは、バツタとは遠く離れたものになってしまいました。うまくできた人たちは、それぞれにアレンジを加え、よりよいものに仕上げていました。書道では、点やはらいなどの基本的な書き方を教わり、実際に書いて練習しました。最後は、先生直筆で自分の名前を書いてもらいました。町を巡ったときは、寺院におとずれて儒教の教えを学び、屋台でおいしい昼ごはんや、アイスクリームを食べたり、最後は消防署に行き、煙がたちこめる暗闇の中を脱出する体験をしたりと食文化や宗教、身の回りに関することを教わることができました。太極拳では、よく公園でやっている人を見かける体操から、痴漢などに襲われた時の護身術まで教わることができました。個人としては、殴りかかれたときの護身術が心に残っています。殴りかかる役をして何をやるのかを言われないうちに先生に投げられ、

痛かったです。日々の食事としては、白米がでないと思っていましたが、ホテルでの朝食、大学での昼食、夕食とどの食事においてもほぼ白米はおいしくいただきました。基本的に油が多く、老人ホームであっても少油ということを書きながらどう見ても油が多く、みんなが文句を言っていました。個人の意見としては、油が多かったけど、野菜を使った料理も多かったし、何しろすべての食事に肉があったことがよかったです。肉料理があったものの、魚料理は11日間で2回しかできませんでした。また、辛い物、味の濃いもの、味の薄いものなど、味に関しては極端なものが多かったので、おなかをこわす可能性も否定できません。たくさん料理が出されるので、残してはいけないと思わず、無理をしない程度に食べたほうが良いと思いました。観光地に行くとたくさんの食べ物屋さんがあったので、日本では食べることのできないものをたくさん食べることができました。

最後に、2013 YPU Summer School of Chinese Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit Programに関係されたすべての方々に感謝しています。
ありがとうございました。



SUMMER SCHOOL 報告書

R12-080 山本 智志 担当：観光

サマースクールに参加するにあたり、私は参加に対する姿勢がとても大切だと感じた。目的を明確にし、積極的に学び交流しようとする意識を持って参加するかどうかで、得られるものは確実に違ってくる。台湾の医療や文化の学習はもちろんのこと、私の担当である「観光」というラフなテーマであっても同じである。ただ観光して楽しむだけでは個人旅行と何ら変わりはない。積極的に国内外の学生や先生などと体験や交流などをして、1つでも多くの事を吸収して、考えることが大事だと思う。私たちは学ぶために今回の研修に参加しているということを常に忘れてはいけない。とても楽しいので忘れがちになりそうだが、今回の様な本当に貴重な体験を決して無駄にしないために、今後参加する学生の方々は頭に入れておいてほしいと思う。

<観光について>

・新竹城隍廟（ビーフンと貢丸湯）

台湾に数多くある城隍廟の中でも新竹城隍廟は多数の屋台が存在する珍しい所。そこで私達はビーフンと貢丸湯を食べた。ビーフンはほどよいスパイシーさがあり麺は歯ごたえがあり見た目以上にボリュームがあるように感じた。また、貢丸湯はとてもおいしかった。台湾のスープは全体的においしい！中の団子は肉団子。



・猫村（侯硐駅）

猫村には名前の通り猫がたくさんいた。また、猫の看板の喫茶店や猫に関する商品がたくさんある土産屋さんなどがあり、猫好きにはたまらない場所だと思う。また、炭鉱跡地がそのままの状態に残っており、そこからの眺めがとてもきれいだった。

・天燈（ランタン）飛ばし（平溪駅）

右の写真のような大きなランタンに願いを書き込んで空に飛ばしました。学校の事や家族の事、友達や恋愛など皆そ



れぞれいろんなことを書き込んでいました。皆で
空に飛ば
した光景は圧巻でとても感動した。



・淡水老街

私の一番のお気に入りです！淡水河に沿って様々な
店が軒を連ねており、美味しいものをひたすら食べ歩
くことができます。また、喫茶店や雑貨店などもた
くさんあります。陽が落ちた後の景色も圧巻で魅力
の一つです。

以上

台湾夏期研修報告書

R12-086 吉田隆人

本報告書は、8月11日から8月21日に台湾にて行われた 2013 Yuanpei University Summer School についての報告書です。

今回のサマースクールでは、京都医療科学大学の卒業生が初代学長である 元培科技大学 が行っている夏期中国語及び医療機関訪問研修プログラムに参加させていただきました。今回の研修には台湾の元培科技大学、日本の国際医療福祉大学と京都医療科学大学の3大学の生徒、教員、事務員等が参加しました。京都医療科学大学からは、生徒5名、教員2名で台湾を訪れました。

今回の研修において大学側の目的は「グローバルな医療人を育てること」でした。そのため私は将来、台湾でも仕事ができるように、台湾で人脈を作る、台湾の医療事情について学び理解する、自分の目を海外に向ける、という3点を目的としていました。



今回の研修では、主に4つの活動を行いました。中国語学習、台湾文化学習、観光、台湾の医療事情についての学習、の4つです。中国語学習は4コマで計8時間行われ、中国語での自己紹介や、台湾の歌、色、数字についての中国語を学びました。台湾文化学習では4コマで計13時間かけて台湾の書道や武術などを学びました。観光では、淡水、九份などの観光地を訪れました。

台湾の医療事情についての学習では、元培科技大学学長先生を含め、3名の先生方に大学にて講義していただいた他、4つの医療施設を訪問させていただきました。施設訪問では様々な物を見学させていただきました。台湾での医療事情や台湾文化を実際に目

で見て確認でき、勉強になりました。講義で 台湾では口腔癌が日本よりも多い という事を教わり、実際に病院には口腔癌に関するポスターが多く掲示してありました。私は台湾で口腔癌が多いのは噛みタバコが原因だと考えています。この口腔癌を研究し、将来台湾で仕事ができると良いと思います。

このように、台湾及び海外の医療事情に目を向けられたという点では、今回の研修は成功したと言えると考えています。また、台湾の友人もできたのでその点に関しても成功です。